

## 輸入 A 型・B 型肝炎ワクチン（Twinrix 成人用）

### ■A 型肝炎について

A 型肝炎は、A 型肝炎ウイルス(HAV)によって引き起こされるウイルス感染症です。ウイルスに汚染された水や食物などを生で食べることで感染します。流行地域は東南アジア諸国、中国、インド、アフリカ、東欧、西欧など全世界にみられます。

肝炎のほとんどは軽症例が多いのですが50才以上で劇症化し死亡に繋がることがあります。（幼児(6歳以下)で70%が無症状。一般的に死亡率は0.8%だが、50歳以上では死亡率は1.8%と高くなります。）

予防方法としては汚染された水や氷、甲殻類、汚染された水で洗われた果物や野菜(サラダ)を生で食べないようにする。ワクチンを接種することです。

### ■B 型肝炎について

B型肝炎はB型肝炎ウイルス(HBV)が血液・体液を介して感染して起きる肝臓の病気です。流行地域は発展途上国で感染リスクがあり、中国・東南アジア・アフリカではキャリアが多いとされています。

肝炎を起こした後、一部の人で慢性化し、肝硬変になったり、癌化することがあります(死亡率は1%。6-10%の確率で慢性化して、肝硬変や肝臓ガンに移行する可能性があります。)

予防方法としては不特定の人との性交渉は避ける。海外では医療器具が汚染されていることもあり、信頼できる医療機関を受診する。ワクチンを接種することです。

### ■ワクチンについて

・輸入ワクチン(Twinrix)はA型肝炎、B型肝炎の双方に対するワクチン(19才以上用)です。

商品名	A 型肝炎・B 型肝炎混合ワクチン Twinrix（輸入ワクチン）
	日本国内では未承認。 海外ではほとんどの国で承認を受けて広く臨床使用されている。
基礎接種回数	標準 : 3回 (0, 4週間後, 6ヶ月後) 至急接種 : 4回 (0, 1週, 3週, 12ヶ月)
抗体価持続期間	15-20年 (基礎接種後)
用量/接種部位	1ml / 筋肉内注射
副反応	接種箇所の痛み・発赤・腫れ、頭痛、倦怠感、筋肉痛。 まれにアレルギー反応(アナフィラキシーショック等)
接種禁忌者	発熱者。過去の接種で重篤な副反応があった人。妊娠・授乳中の人には推奨しません
接種後の注意	過激な運動・大量の飲酒は避けましょう。 予防接種後に接種部位が赤みを帯び腫れたり、痒みを感じたり痛む場合がありますが通常4~5日以内に軽快します。また、軽い発熱・全身の倦怠感・頭痛・下痢などが起きることもあります。万が一、高熱やけいれん等の異常な症状が生じた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

### ■副作用救済制度について

日本国内で承認されているワクチンは健康被害に対する救済制度が確立されていますが日本国内未承認ワクチンについてはその救済制度は対象外になります。そのために国内未承認ワクチンの副作用に関する救済補償制度は、当院が輸入を依頼しています(株)インターナショナル メディカル マネージメント(IMMC)社による独自の補償制度に従うこととなります。